

2月26日（金）

大湫大杉再生支援のために、 再び収益金をお渡ししました



昨年の10月23日に、「大杉再生支援」のためにアルミ缶回収の収益金を寄付しました。あれから早5ヵ月。この日、これまで継続して取り組んできたアルミ缶回収の収益金を再び「大杉再生支援」のためにお渡ししました。

大湫町からは公民館長の渡辺氏と、大杉再生支援事務局の向井氏にお越しいただき、生徒を代表して、生徒会執行部の6名が、その後集まったアルミ缶回収の収益金とメッセージが書かれた色紙を両氏に渡しました。

両氏は感謝の言葉を述べるとともに、「現在大杉がどういう状態にあるのか」「今後大杉がどのようになっていく予定であるのか」を、生徒たちに丁寧に説明してくださいました。

今年度取り組んだアルミ缶回収は、間接的に地域に貢献する活動でした。

それに対して、地域のボランティアの要請に応えることは、直接的に地域に貢献する活動です。しかし、これら



二つには、間接的と直接的以外の違いがあります。それは、**アルミ缶回収を通して北中生が地域に働きかけている**という点です。つまり、**北中生から地域にアプローチ**しているということです。

来年度は地域の要請に応える貢献と、北中から地域にアプローチする貢献の二本立てで取り組みましょう。「待ちの北中」ではなく、「アプローチの北中」となることを期待します。

